10連休後、家庭訪問で担任が大変お世話になりました。さて、滋賀県大津市の保育園児の交通死亡事故を初め、相変わらず子どもが事故に巻き込まれるニュースが入ってきます。今回の「学校だより」は、昨年度同様、それを受けて発行させていただきます。

以下の3項目については、学年に応じ、本日担任より指導させていただきました。かけがえのない子どもの命を守るためです。保護者の皆さんからも、お話ししてください。

交通安全のお願い

昨年度、市内において新年度早々、登下校時や放課後に交通事故が発生している状況がありました。中には高学年児童がヘルメットを着用せず、整備不良（ブレーキ不良）の自転車に乗ったまま、転倒時に頭部を強打し、頭がい骨陥没骨折のため一時危篤状態になった事例もあります。また、本校においても昨年度冬、登校時に青信号横断中にもかかわらず事故に巻き込まれた例もありました。そこで、以下の点についてお子さんにお話ししてください。よろしくお祈りします。

- ・歩行（登下校時以外でも）の際は、通学路を通り、横一列になって車道にはみ出さない。
- ・横断時は、青信号でも決して飛び出さず、必ず一旦停止および左右確認を十分に行う。
- ・自転車乗車の際は、ヘルメットを着用（道路交通法63条の10には、「13歳未満の子どもを自転車に乗車させるとき、保護者はヘルメットを着用させるよう努めなければなりません」とあります）する。また、自転車の点検整備もお祈りします。

登下校時のお願い

昨年5月7日の下校中、新潟県で小2女兒が行方不明になり、殺害されるという痛ましい事件が発生しました。本校児童は、最初に学校に到着する子と最後に到着する子に実際大きな時間のへだたがあります。「四郷っ子の約束」の中に、「登校は、午前8時00分から8時20分までに学校に着くようにしましょう。」とあります。この時間帯は、学校に複数の職員がいること、時間に余裕を持つことが事故防止につながることを意味しています。また、PTA地区委員さんや交通安全ボランティアさんが、校区内の危険箇所立つ時間帯であることも意味します。児童が一人で登下校中、事故や事件に巻き込まれた時に、周囲の大人が迅速に対応できることが大事です。よって、以下の点についてお子さんにお話ししてください。よろしくお祈りします。

- ・登校は、午前8時00分から8時20分までに学校に着くようにする（遅刻の際は、必ず学校へご連絡をお願いします）。忘れ物があっても、決して取りに帰らない。
  - ・石を投げたり、けったりしない（もし、人や車に当たったら大変なことにつながる）。
  - ・通学路を通り、PTA地区委員さんやボランティアさんにあいさつをする（そこを通った証し）。
- ※地区委員さんには、登校見守り、大変お世話になります。当番日の朝は、時間に余裕を持って（できれば集合時刻5分前に所定の場所にて）見守り・指導をよろしくお祈りします。

雨天（荒天）時のお願い

昨年5月7日、滋賀県で下校中の小1女兒が側溝で足をつけて遊んでいたところ、突然流され、死亡する事故が発生しました。これから梅雨の時期になるとゲリラ豪雨のため、天白川の増水、道路の冠水や側溝の水量が急激に増えることがあります。場合によっては「すぐメール」で登下校時刻を遅らせる通知をすることがあります。雨があがっても、川や側溝はさらに増水する場合があります。よって、以下のことについて、お子さんにお話ししてください。よろしくお祈りします。

- ・雨天（荒天）時は、溝や川に近づかない（遊ばない）。
- ・激しい風雨の場合、傘よりもレインコートを着用する（特に低学年）。また、傘で遊ばない。